

おはなしばたけ通信

10.15

平成25年10月31日
 交野市立 和希小学校
 読書ボランティア
 赤いちおはなしばたけ

1年生 (10/16)
キャバくん
 長新太 文・絵

1-1には あらすじや感想・クラスの様子等 書いています
 その時々によって 子どもたちの反応が 違い 面白いぞ!



運動会、遠足、秋祭り、修学旅行...と楽しい行事が続く2学期ぞね。

さて 9/18(水) 図書館司書の和田巨都子さんに 来ていただき、お話をお聴きました。
 「絵本は作者の言葉であっても 語り手の言葉となって 子どもたちの心に定着する」に
 ドキッとしました。また 語り手は 子どもと本をつなぐ「水先案内人」であること。その上で
 子どもたちとの時間を大切にしていきたい、と思えました。

10/23(水)には 旭小で 交野市内の読み語りボランティアの方々の交流会に
 参加させていただきました。他小の活動や個々の思いをお聴きすることが出来て
 とても 楽しかったです。つなぐことが 大切なことだと感じ、交流会となりました。

お知らせ 和希小学校のHPに「おはなしばたけ」を載せていただきました。
 通信のバックナンバーもあります。設立当初の試行錯誤も懐かしいぞ。
 良いねば のぞいてみてね。

1年生 (9/4)
ちいさいタネ
 エリック・カール 文
 ゆめさふみこ やく
 ぼんせい 絵

あさがおのたねを夏休みから 探っているぞ、の本を選びました。
 小さいたねが 旅をして最後に大きな花になって、また たねをまく
 というお話です。



4年生 (9/11)
みどりの船
 ケン・ブレック 作
 千葉 茂樹 訳
 あかね書房

夏休みの冒険が描かれている。
 私たちの世代なら 同じように遊んだらう空想を馬鹿使したらう遊び。
 本は船になり、庭は 大海原だ。今の子ども達に できたらうか?
 そう思いつつ読みました。さあ、みんなで みどりの船に 乗り 大海原へ!
 (ゆず)

4年生 (10/3)
ふしぎなおぼん
 菅藤 栄美 作
 岡本 真 絵
 ポプラ社

1人でお留守番をすることになったひでおくん、しりとりを始めると本物
 の動物が 現われて...。子どもたちは 一緒にしりとりを 考えてくれたり
 楽しく 読めました。
 (やすみ)

6年生 (9/1)
鼓のなみおどり
 今関 信子 作
 飯野 和好 絵
 朝北社

琵琶湖に浮かぶ 沖島の小学生と、その家族の生活(漁師)。
 琵琶湖の伝説を織りませたお話、子どもたちが 文化まつりのおし物の
 「たいりやうだいこ」を練習おどりが ちょうど6年生の時期にピッタリと思い
 選びました。絵も 可ばらしいぞ。
 (ゆう)

おはなしばたけ の オススメ本

低学年	低学年	中学年
 「しずくのぼうけん」 マリア・テリコフスカ 作 ポフダン・ブテンコ 絵 うちだりさこ 訳 (福音館書店)	 「こぶたくん」 ジーン・パン・ルーワン 作 アーノルド・ローベル 絵 三木 卓 訳 (童話館出版)	 「としよかんねずみ」 ダニエル・カーク 作 わたなべ てつた 訳 (瑞雲舎)
 「きょうというひ」 荒井 良二 著 (BL出版)	 「道はみんなのもの」 クルサ 文 モニカ・デルト 絵 岡野 富茂子・岡野 恭介 共訳 (さ・えら書房)	 「すき好きノート」 谷川 俊太郎 著 安野 光雄 挿画 (アリス館)



パンダ銭湯
 tupera tupera 著
 絵本館

先日 月おとなの絵本ひろばと本読み
 お母さん交流会でインパクトのある
 絵本に出会いました。
 タイトルは 月おとな 銭湯のパンダさん
 家族がパンダ専用の銭湯に行き、
 入って帰ると うちのだけのお話ですが、文
 流会で読んでもらって、途中で、新鮮
 な驚きがいっぱい。それによ
 パンダの黒い部分も、そうなのよ、
 すっぴんが可愛くなるのが、妙に可愛い。
 耳、等々、帰り道の後ろ姿も微笑を
 誘うと、心に温まりました。
 近くで見ると、銭湯の張り紙や
 料金設定、その他小物にも 各ペ
 シ全体にユーモアたっぷり。とても
 楽しかったので、子どもたちにも 近々
 披露できたらいいなと思っています。
 (ジャズミン)

ふつとひといき